

有明海奥部における貧酸素水塊の発生状況

(独)水産総合研究センター西海区水産研究所
有明海・八代海漁場環研究センター

1. 湾奥底層の溶存酸素の変動(6月下旬から7月上旬)

有明海では7月上旬からの降雨に伴う出水により密度成層が形成され、湾奥(浜川観測塔、浜川沖、沖神瀬西)では底層の溶存酸素が低下傾向です。

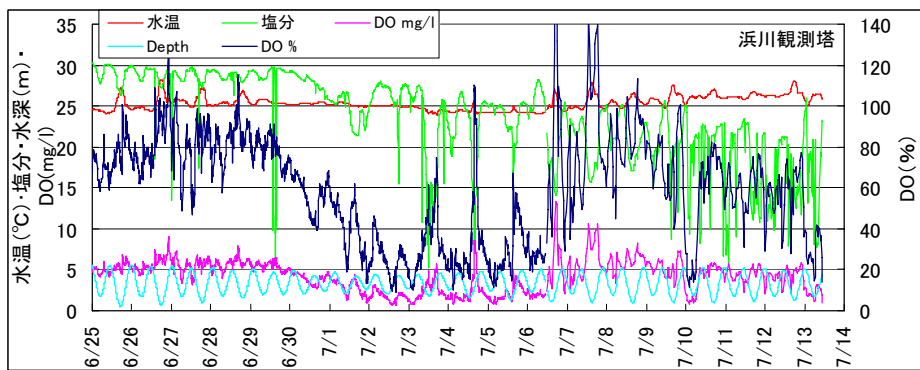


図1a. 有明海奥部底層の溶存酸素等の変動(浜川観測塔)

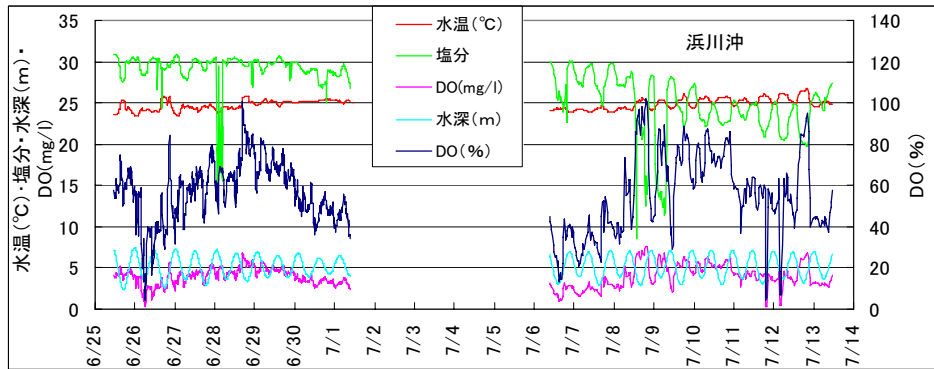


図1b. 有明海奥部底層の溶存酸素等の変動(浜川沖)

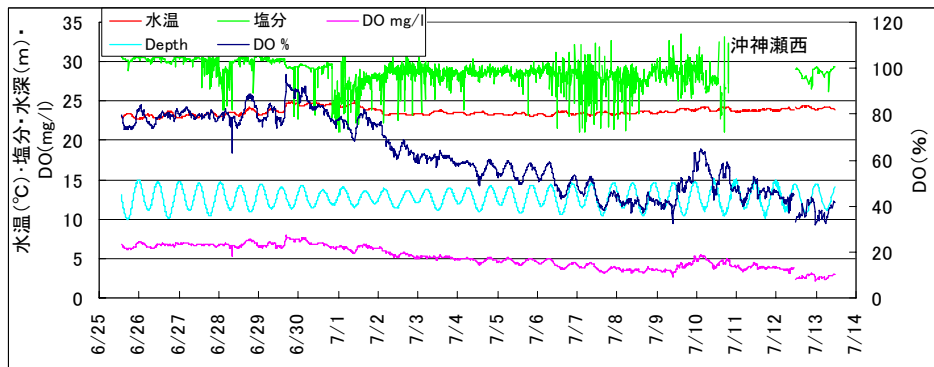


図1c. 有明海奥部底層の溶存酸素等の変動(沖神瀬西)

7月3日(小潮)には湾奥底層で貧酸素となっていました。7月10日には湾奥に密度成層が形成され、沖合域の底層で溶存酸素が4mg/l以下に低下しています。

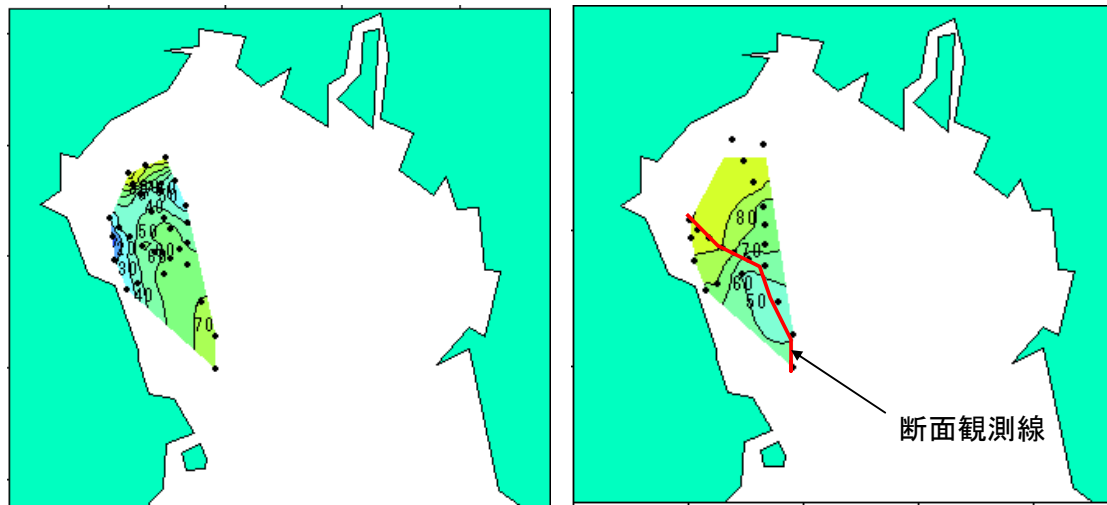


図2. 湾奥部底層の溶存酸素分布(%) (左:2009年7月3日、右:2009年7月10日)

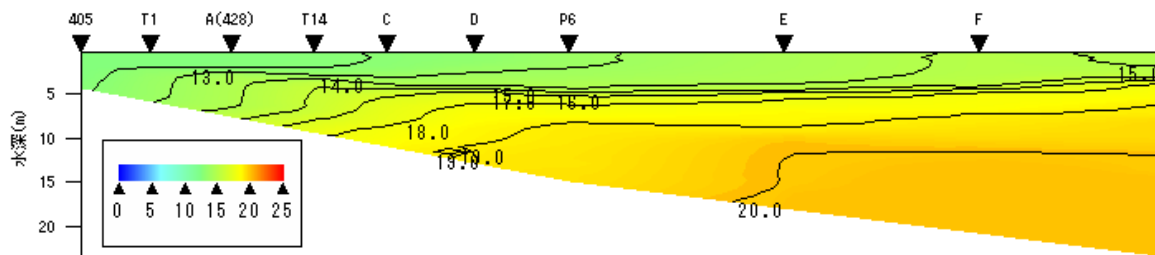


図3a. 湾奥部断面(図2右の赤線)の水質分布(密度、 σ_t) (2009年7月10日)

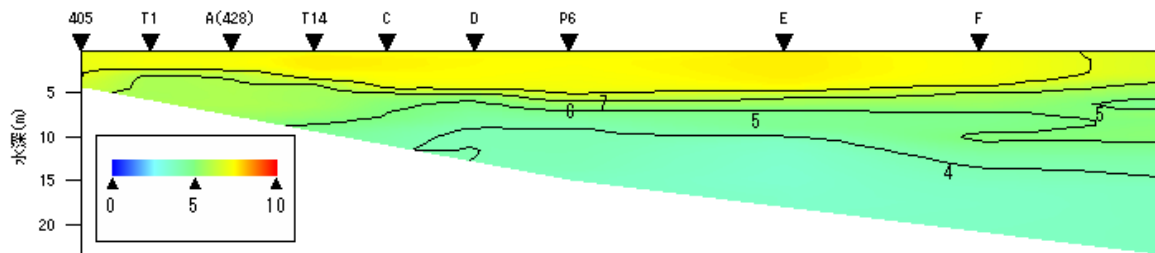


図3b. 湾奥部断面の水質分布(溶存酸素、mg/l) (2009年7月10日)

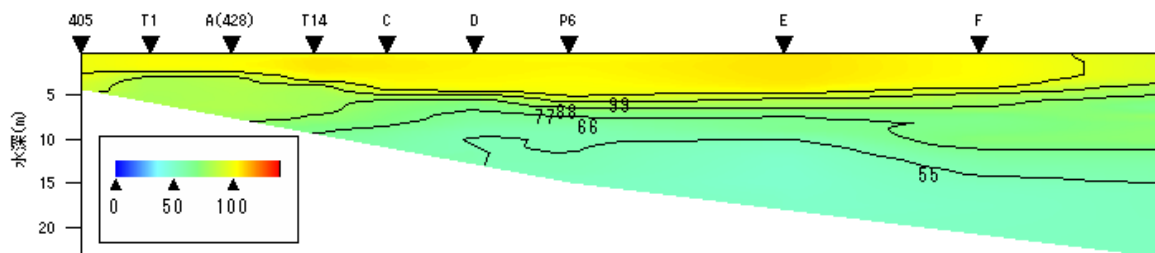


図3c. 湾奥部断面の水質分布(溶存酸素飽和度、%) (2009年7月10日)